

東京藝大の研究生が実習ゼミ

町長とまちづくり意見交換会も

熱海市泉のクレ
アーレ熱海ゆがわ
ら工房で、今月13
日(月)から17
日(金)まで、東
京藝術大学大学院
美術研究科絵画専
攻壁画研究分野壁
画研究室の学生10

名が、授業の一環
としてインターン
シップによる壁画
実習ゼミを実施す
る。

て富田幸宏町長と
意見交換会を行な
う。

交換会には富田
町長のほか湯河原
温泉旅館協同組合
理事長で湯河原温
泉まちづくり協議
会会長でもある山
本一郎氏(ふきや
旅館)と伊豆湯河
原温泉観光協会会
長でまちづくり協
議会副会長の渡邊

宗男氏(川堰苑い
すゞホテル)及び
工藤晴也東京藝大
教授、藤原俊同大
学研究助手、研究
室学生10名、クレ
アーレ熱海ゆがわ
ら工房スタッフが
参加し、ふきや・

いて学生の意見を
聞き、町長と意見
を交わす。

また、5日間の
実習ゼミでは、ク
レアーレ熱海ゆが
わら工房がパブ
リックアートとし
て設置予定のステ
ンドグラス・陶版

置施設との関係、
原画からパブリッ
クアートへの翻訳
作業な実習授業と
なる。実習ゼミ日
程は、13日の講義
(壁画表現・ステ
ンドグラスと陶板
レリーフ・マネー
ジメント)や工房
見学から14・15・
16日の3日間の実
習、17日の全体講
評と意見交換会。

力による温泉入浴
体験や実習ゼミを
踏まえて、湯河原
のまちづくりにつ

作品の制作工程の
一部を工房スタッ
フと一緒に学生が
制作に加わり、設

見学の3日間の実
習、17日の全体講
評と意見交換会。